

入院療養計画書

肝動脈化学塞栓療法(TACE)を受けられる

さまへ

主治医 (印) 看護師長 担当看護師
 担当医 患者または代理氏名
 病名: 症状:

担当管理栄養士

特別な栄養管理の必要性 (あり・なし)
 薬剤指導を (希望する・希望しない)
 病室入り口への氏名表示に同意 (する・しない)

	入院1日目	入院2日目/治療前日	入院3日目 治療当日【治療前】	【治療後】	入院4日目 治療後1日目	入院5日目 治療2日目	入院6日目 治療3日目	入院7日目以降 治療4日目以降	退院日 治療7~10日目頃
内服	・入院中のお薬は病院で処方してお渡しします。入院前に内服していた薬がある方はお申し出下さい。		・内服は夕方から再開します。		・内服は通常通りです。				・薬が出る場合もあります。
注射			・点滴をします。		・点滴をします。 ・食事が半分程度摂取できるようになったら終了になりますが、治療時に使う薬剤によっては、尿量を確保するために必要なことがあります。			・点滴をします。 (必要な方のみ)	
検査受診	・入院後、採血・胸のレントゲン・心電図の検査があります。		・検査室で肝動脈化学塞栓療法を行います。 ・治療予定時間(:) ※開始時間は前後する場合があります。		・採血をします。			・採血をします。 (治療後5・7日目に行います)	・退院の目安は、体温や血圧が安定しており、血液検査に問題がない事です。
処置	・マニキュアをとり爪を切ってください。 ・カテーテルを入れる部位の毛を剃り、シャワー(入浴)します。シャワー(入浴)後、両足の甲に×印をつけます。 ・治療前日は、下剤を2錠内服します。		・検査当日の朝に洗腸を行います。 ・点滴が入ります。 ・場合によっては尿の管を入れます。 ・指輪、腕時計、眼鏡、コンタクトレンズなど身に付けているものを外して下さい。 ・治療の30分前になりましたら、T字帯をつけ病衣を着て搬送用ベッドにうつります。気持ちを落ち着かせるように肩に注射をします。		・治療後は、ベッド上で安静にしてください。先生が治療部位の止血の確認をし、止血が確認できれば安静が解除になります。 ・問題がなければ尿の管を抜きます。				
安静程度範囲	・病棟を離れる際は看護師に声をかけてください。		・治療までは制限はありませんが、病室でお待ちください。		・病室後は、ベッド上安静です。カテーテルを入れた方の足の付け根に砂の袋を置きます。許可が出るまで足を曲げたりしないでください。先生より止血が確認できたら、安静は解除になります。			・制限はありません。 	
清潔 排泄	・シャワー(入浴)は可能です。	・検査前日は、シャワー(入浴)に入って下さい。カテーテルを入れる部位の毛を剃った後、シャワー(入浴)します。シャワー(入浴)後、両足の甲に×印をつけます。			・安静が解除になるまでは、排尿は、尿管又は尿器での排泄になります。排便は、ベッド上で行うのでナースコールでお知らせ下さい。 ・安静解除後は、トイレにて排泄ができます。トイレ時はナースコールでお知らせください。			・通常通りです。(尿をためる必要がある際は説明を行います。)	
食事	・食事の制限はありません。	・食事、飲水の指示があります。	・治療当日は絶飲食になります。食事は 月 日 時 水分は 月 日 時までです。		・病室後より飲水は可能になります。水分は多めに摂取して下さい。 ・食事は寝たままです。			・通常通りです。 	
説明・指導	・医師より治療内容を説明します。 ・看護師より治療の流れを説明します。 ・治療に必要な物品の説明と同意書の確認をします。 ●必要物品 ティッシュペーパー T字帯1枚 タオル バスタオル 曲がるストロー 入れ歯のある方はタッパー 飲み物(ペットボトル500cc 3本)		・治療当日は時間外面会ができます。 ・血管造影室に家族の方は入ることができません。病室やデイルームでお待ちください。場所を離れる際は看護師に声をかけてください。		・看護師が状態を観察するために頻回に訪室します。 ・患者さんの状態によっては家族の方に付き添いを依頼することがあります。			・治療約1か月後に、外来でCT(もしくはMRI)検査を行い、治療効果の判定を行います。 (退院指導) ・外来の再診日は、退院後2~3週間後となります。退院時に再診予約表をお渡しします。	

お断り:このスケジュール通りに進まない場合もあります。そのときは、医師や看護師から説明があります。